

消費者と提携し地域農業を守る

下郷農協



2019

7

No. 689

January



生産者と子ども達が楽しく「ぺったん」
～稲作体験の総仕上げに門司で餅つき交流～

新年のあいさつ

代表理事組合長 矢崎 和廣



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

新しい年を迎え、組合員・消費者・地域のみなさまにおかれましては穏やかに過ごしのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は、引き続き厳しい農業情勢の中、農協の事業運営にご理解ご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

政府が進める「農協改革」へ 正念場の年

安倍政権は、2015年8月改正された農協法7条によって「組合は、その事業を行うに当たっては、農業所得の増大に最大限の配慮をしなければならぬ」とする「農業所得の増大」を掲げ、農業競争力強化支援法などにも引き継がれています。そして、これまで農業所得が上がっていない事を農協の責任とし「農協改革」が進められ、農協系統は農協責任には反旗を掲げずに「農協改革」に対抗して「自己改革」を掲げ、取り組んでいます。しかし、その「自己改革」についても政府は、改革の決め手は信用事業の譲渡・代理店化だと規制改革会議は答申し、20

16年11月には3年後を目途に信用事業を営む農協を半減させるべきだとまで述べています。そのような中で、昨年のJA県大会で県一農協を宣言した県も次々と出てきており、政府の思惑通りに進みつつあるのも現実です。

一方で、世界では国連が「家族農業10年」を提唱し、家族農業の重要性や役割を確認している中であって、いよいよ農協がその存在意義を地域で発揮するためにどうするかが問われます。

これまで先人の方々が守り発展させてきた下郷農協を、これに農協としての役割を果たしていくのか、政府が進める「農協改革」という農協潰しの中で、正念場の年となります。

亥年は守りに徹した年ですが

今年は「亥年」です。「亥年」は内なる充実をはかり、次のステージの準備をする年だと言われています。ただ、イノシシということで「猪突猛進」という風な意味でもあります。そういう意味では、どちらも重要ですし、下郷農協としては内部でしっかりとした体制づくりをしながら次のステップへ、事によっては猪突猛進で突き進むという事も必要な年となります。厳しい環境下にある農業や農協運営の中で、積極的に打って出るところは打って出て、内で

は費用の削減、在庫管理など無用の支出に繋がらない取り組みの中で、「組合員と農協」という基本部分をしっかりと守っていかねばなりません。打って出るという点では、中津市の6次産業推奨品となった「飲むヨーグルトS11」を軌道に乗せる事を柱に、販売の拡大による生産者の生産増大に結び付けたいと考えます。

下郷農協が「無いと困る存在」 となるように

引き続き畜産をはじめ、コメ・野菜など生産の状況は厳しい傾向にあると思います。取り組んでいる新規就農者の募集・確保も厳しい環境ですが、新規に野菜生産を始めたり、黒豚について、後継者が今年Uターンにより就農も出てきた。どの明りい話でも出てきました。引き続き、地道な声掛けや情報提供をしながら生産の拡大につながるように努力して参ります。また、今年度事業の基本方針として掲げています「再生産と経営継続に向けた決断と実践」は、特に不採算部門における業務をどうするか等、様々な状況の中で簡単ではなかった事から今一歩進んだ判断が必要と考えています。やはり、売り上げを伸ばす事と、経費の削減は一体的に進めることなしに収益を上げる事に繋がらないため、もつともつ

とシビアにやっつけていく事を念頭に取り組んで参ります。農協の経営を良くすることなしに、「農協改革」という農協潰しに対応していきける事は無いと思えますし、組合員はもとより、消費者や地域の方々から「下郷農協が無くなる」と困る「と言われる限り、その想いに応えるべく、農協の継続に全力で取り組みます。」

政府はいよいよ31年度にそれだけの農協で掲げた「自己改革」が実行されたかの検証をし、その結果によっては「准組合員規制」という農協潰しの切り札を施行するかもしれません。

多くの農協で、金融や共済の事業利益が農協全体の経営の柱となっていて、中では、「准組合員規制」が実施されることは総合農協としての体をなさなくなり、その存続自体が厳しくなる事を意味します。

そういった意味では、「信用事業譲渡」を実施した下郷農協は、「組合員が主人公の農協運営」を基本とし、安全・安心・有機農業を基本とした経済事業で生き残っていき道を追求し、地域において存在意義をしっかりと発揮して行きます。

小さい農協の生き残りは決して楽な環境下ではありませんが、今年一年、農家組合員の営農と暮らしを守り地域が少しでも発展し、農協も事業計画が達成出来るように今年一年を精一杯頑張ります。

結びに、組合員、そして消費者の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。今年もどうぞよろしくお願致します。

今年もどうぞよろしくお願致します。

TBSテレビ「じよんのび日本遺産」

こだわりの耶馬溪牛乳をピール

TBSテレビ毎週日曜日朝6:00から、関東・関西首都圏を中心に放送されている紀行・旅・情報・ドキュメンタリー番組「じよんのび日本遺産」で、12月9日と16日に、やばけい遺産〜大地に描いた山水絵巻の道をゆく〜前・後編が放送され、CMやミュージカルで活躍するナタリー・エモンズさんが紅葉に染まる耶馬溪を旅しました。

番組内では耶馬溪牛乳の産地、鎌城地区の耶馬溪酪農組合長 山崎智広さんを訪ね、乳しぼり体験や耶馬溪牛乳・下郷農協プリンと一緒に味わってもらいました。

同番組名の「じよんのび」は、新潟地方の方言で「ゆったり、のんびり」という意味で、文化庁が認定する「日本遺産」をゆったり、のんびりと巡り、日本各地の歴史的魅力や特色を通して、文化・伝統を再発見する旅番組です。

残念ながら九州では宮崎



旅人のナタリー・エモンズさんに耶馬溪牛乳のこだわりを説明する山崎智広酪農組合長

でのテレビ放送のみとなりましたが、山崎酪農組合長や家族の皆さんのご協力により東京・大阪の大消費地をはじめ、最新回無料配信中のTBS FREE by TBS オンデマンドでのネット配信を通じ、多くの方々にこだわりの下郷農協商品をピールがとうございました。

(f)

こんにちは！ダイケア元気村です

新年明けましておめでとうございます。

今年も皆様にご満足して頂けるサービスが提供できるよう、スタッフ一同努力してまいります。

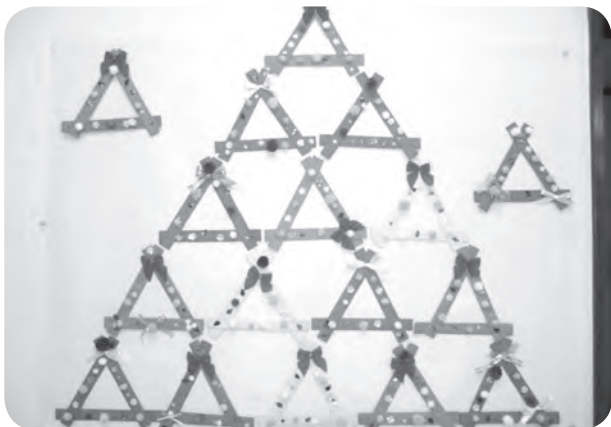
どうぞ今年もよろしくお願い致します。

寒さも厳しくなっています。手洗いやうがい、マスクの着用などの対策をして風邪を引かないよう気をつけてください。

ダイケアでは、お楽しみレクリエーションで、三角リースのクリスマスツリー・毛糸のミニツリー・リースを作りました。色画用紙3枚を三角形になるよう組み合わせて作ったり、ミニツリーは毛糸やモールを巻きつけ、リースは丸く切り抜いた画用紙に毛糸を巻きつけて作り、それぞれ利用者様がお好きなようにスパンコールやリボンなどで飾りつけ、とても素敵なおリースが出来ました。

ダイケア元気村

56-2385



健康米生産組合 組合長

鈴木健久

「無農薬米・健康米のご利用
ありがとうございます。」

いつも下郷農協の無農薬米・健康米をご利用いただきましてありがとうございます。

消費者の皆様様に安全で美味し
いお米を食べていただきたく、
組合員20名2法人で生産に励ん
でいます。昨夏は酷暑とか災害
と言われるほどの暑さで、さら
に北部九州地方は雨が全く降ら
ない日が続きました。稲が水を
一番必要とする出穂時期以降の
水確保に苦労した農家も多かつ

下郷有機野菜生産出荷組合 組合長

鷹崎満行

つなぐ

新年明けましておめでとござ
います。

昨年は各地で大きな災害が起
き、多くの尊い人命が失われま
した。ここ下郷の地においても
大規模な土砂崩れが発生し、6
名の方々が亡くなるという思い
もよらない事故が起きました。

たと思います。暑さのおかげか
収量は比較的良かったのですが、
品質は高温障害などが多かった
ようです。

例年通り籾種の温湯消毒や、
田植え後と収穫前の2回、組合
員の圃場巡りを実施し対策につ
いて研修を行いました。また、
田植え交流会・稲刈り交流会・
餅つき交流会を学童クラブや保
育園の皆さんを迎えて実施しま
した。グリーンコープ生協のフ
ードバンクを通じてお米を届け
る活動にも取り組みました。

長年無農薬米を出荷してきた
大口生産者が病気で生産をやめ
て無農薬米が極端に減少してい
ました。昨年無農薬米の買取価

どうぞ今年一年が穏やかな年で
ありますようにと祈らずにはい
られません。

私が野菜組合の組合長を引受
けてから早や4年目に入ります。
近年では農家の高齢化による離
農、後継者不足、耕作放棄地、
政府の進める「強い農業」など、
小農を営む者にとってはストレ
スが増す言葉ばかり聞こえてき
ます。特に農地を集積・大規模
化し、農産物のコストダウンを
図り、農薬や遺伝子組み換え作

格の引き上げを要望し実現した
結果、無農薬米の生産者が1名
から4名に増加し出荷量も前年
の2倍に増え、中断していた宅
配や店舗への販売が再開された
ことは生産者として喜ばしい出
来事でした。

昨年4月には耶馬溪町金吉地
区で大規模な山崩れが起き、6
人が犠牲になる痛ましい事故が
ありました。家が全壊する生産
組合員さんがおられ、避難生活
のうえ農業機械も種籾も失った
中でも稲作りを行い出荷されま
した。その意欲に同じ生産者と
して頭が下がります。

山崩れ災害には皆様から多く
のお見舞いや応援をいただきま

物の規制緩和というリスクが伴
う「世界と戦える強い農業」に
は違和感を覚えます。

約半世紀にわたり安全で安心
な野菜を提供し続けてきた「下
郷有機野菜生産出荷組合」も高
齢化してきましたが、私達生産
者はまだまだ若い者には負けて
られない！という思いです。次
の世代につなげていけるまで頑
張り続けます。

工夫を重ね、知恵を出し合い
頑張る私達の背中を誰かが見て

した。改めてお礼申し上げます。
農業情勢や異常気象など、生
産を取り巻く現状は厳しくなる
ばかりですが、本年も安全で美
味しいお米を作りお届けしたい
と思っています。どうぞよろし
くお願いいたします。



稲刈り交流会で子ども達に稲の刈り方を説明する
鈴木健久健康米組合長



圃場めぐりに参加した野菜組合員さん
(後列左から3人目が鷹崎組合長)

くれている事を信じつつ、年頭
のあいさつと致します。

黒豚部会 部長

石川 栄二

365日、豚たちと共に

新年明けましておめでとうございます。

昨年は大変お世話になりました。

耶馬溪酪農組合 組合長

山崎 智広

新年の抱負

酪農組合は、現在5戸の農家でがんばっています。

生産農家の減少、生産量の減少が続いていますが、厳しい時

女性部長

三上 あけみ

役に立ち、得になり、楽しい女性部活動とは

明けましておめでとうございます。

まず自分のためになり、みんなの役に立ち、そして自ら楽しくなる活動をしように女性部長を引き受けて4年がすぎました。

毎月の共同購入、女性部OB、農協を支えて頑張ってきた先輩の方とのお楽しみ会、農協まつりでのとり飯、うどん等の

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

地球温暖化の影響なのか、今年の暑さは豚たちも食欲が減り、なかなか太りが悪く思うような出荷ができませんでした。

消費者の皆様にもご迷惑をおかけしております。

こそ組合全体が一つになり、少しでも生産量増加ができるように努力していきたいと思っています。

飼料や、畜産資材の高騰で、厳しい経営状況が続いています。が、乳価値上げ交渉に少しでも理解、実行してもらえよう視察の受け入れや、生産増加のための勉強会などを実施し、頑張

販売、食を考えるフォーラム参加等と活動が定着してきましたが、みんなに喜ばれて役に立っているのかと心配しているところ。自分も忙しくなってきたのは確かな事ですが、新年にあたり思いを新たにしたいと思っています。

昨年11月JA大分県大会で「JAの自己改革にどう取り組むか」と題して立命館大学教授増田佳昭氏の講演を聞きました。いいお話でしたので紹介します。

政府の農協改革はJAの姿かたちを根底から変えようとするもの

世界中の異常気象でエサへの影響も大きく、値上げが続いています。

今年はどういう年になるか、いずれにしても消費者の方々の温かい応援をいただきながら、365日変わらない毎日を豚たちと共に過ごして行けたらと思っております。

つていきたいと思っています。

下郷農協のますますの発展、そして、下郷地区の活性化ができるよう農協、生産組織が一丸となつて頑張つていきましょう。

今年も、安心安全、そして美味しい耶馬溪牛乳を生産していきますのでよろしくお願ひします。

だ(農協制度の危機)

しかし、JAを良くするため絶好の機会！せっかくだから本気の「JA改革」を。「あつて良かった」と言えるJAづくりを！

農協は地域の共同の資産 地域社会とくらしのために活用しよう

女性部も、青年部も考えてみよう。JAは組合員と地域の役に立っているのか、今こそ、JAの姿を再点検すべき。

健康長寿、誇れる地域社会、健康、いきがい、所得、食と農、文化、医療、住宅、環境、JA



社会見学で訪れた小学生の質問に答える山崎智広耶馬溪酪農組合長



石川さんの黒豚とふれあう幼稚園児



おしゃべりを楽しみながら皆でゴキブリ団子づくり

とともに取り組めることはないか？ 組合員とともに自己改革を！ これはほんの一部ですが、女性部もみんなまで考えられたらいいなと思っております。本年もよろしくお願ひします。

下郷農協労働組合 執行委員長

中島 享 一

原点に立ち返り飛躍の年に

新年、あけましておめでと
うございます。

昨年、4月11日に金吉（梶
ヶ原）集落での、山崩落事故が
あり6名の尊い命が奪われまし

産直大地の会久留米代表

緒方 忠 臣

新年あけましておめでと
うございます。本年も旧年に引き続
きよろしくお願いいたします。

昨今、T P P 問題、種子法改
正、水道の民営化、消費税増税
など、私たちの暮らしや命が脅

新日本婦人の会福岡県本部 会長

三輪 幸 子

日本の農業を守る運動を
いっしょに

新日本婦人の会は、全国が
つながらり女性の要求実現目指して
さまざまな活動をしている友愛
の組織です。

外国からの農産物がどんど

た。近年、毎年のように災害等
が起こり、身の危険を感じる世
の中になってきたと思われまし

一方国政では、働き方改革と
称した労働者いじめや、昨年末
に数の力で強引に十分な議論も
行かせない入管難民法など、私
たち労働者に直・間接的に降り
かかる問題が、財界寄りの政府
自民党を中心に異常な事態を引

かされるような変化がたくさん
おきています。正直、この先ど
うなっていくのか、とても不安
です。

ですがこの状況は、私たちが
根本を見つめ直す良い機会が与
えられているのだと信じたいの
です。こんな時代にこそ、単に
物やお金のやり取りだけではな

き起こしました。

農業情勢についても、種子法
廃止による種苗法改正により農
家が自家採取による種の確保が
規制されるなど、農業の根幹で
ある種子の危機が迫っています。

また、遺伝子組み換え作物に
続き、芽に毒のないジャガイモ
など、ゲノム編集技術を用いた
生物や食品が、我々農業分野や

い、本当の人と人の関係がとて
も大切になっていくのだと思
います。

今後も下郷農協と生産者、消
費者が強く手をとりあい、みん
なで知恵を出し合い、安心・安
全で平和な暮らしが続けられる
ように努力していきましよう。

地に必要な支援に取り組んで
います。

今、自公政権がすすめている
農業政策は日本の家族農業を守
り育てるものではありません。
T P P 11、日欧E P Aや日米F
T Aなどを推し進め、種子法を
廃止し、種苗法の改悪も狙って
います。

こんな農政が続けば日本の自
然が壊され、食糧自給率はさら

消費者の食卓を脅かす懸念が出
ています。

私たち労働組合は原点に立ち
返り、学習し交流することでお
互いが切磋琢磨し、知を力にス
キルアップすることで、今年一
年が大きく飛躍できる年にして
いきたいと思います。

以上、意を尽くしませんが、年
頭に当たつての挨拶と致します。



おおいた冠地どりの生産者らを招き料理教室

に下がり、子どもや孫の代には
安全な食糧を手にすることがで
きなくなります。生産者のみな
さんと消費者がさらに力を合わ
せ、日本の家族農業・安全な食
糧を守っていききたいと思いま
す。大変な状況の中ですが、こ
れからも下郷農協のみなさんご
奮闘を願ひ、できる限りの応援
をしていききたいと思つていま

産直士の会役員

徳 永 ヨウ

新しい年に

農業は国の礎ですが、後継者不足が言われて久しく、自給率の向上は未来への深刻な課題です。安心安全な食の提供も同じ筈です。

「あなたの体はあなたが食べたものでできている。」とは大切な養生訓でしょうが、食を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。

下郷農協の農畜産物生産の歴史には、生産者と消費者のあるべき基本が貫かれています。

消費者は自らの体を作る食材を選び、生産者もまた未来へ継

下郷有機農業産直の会 会長

葉山 牧子

「新年も一緒に

頑張りましょう」

私が「下郷有機農業産直の会」に入会して三十年を超えました。

五十年を超えた下郷農協の歴史を思うと「よく頑張って来ら

続する取り組みとして環境にも視野を拡げます。

それは食を通じて互いの信頼のもと連携をはかるスタイルです。

しかし昨今、農業を取り巻く環境の変化は、生産者、消費者の意識を変え、食卓は基本的な食べ物の情報を反映させ辛くなりました。氾濫する健康食品等と同様その姿を追求しにくくなっています。

昔、未来物のアニメで、少年が地下の食品製造工場でパンがプラスチックから作られているのを発見、驚く一コマがありました。警告的な内容でしたが、今や様々な要因が食の基本を脅かしていると感じます。

こうした中、下郷農協と産直れた」と感激いたします。

近年著しい経済のグローバル化は決して良いことでは無いという思いが確信になってきました。

消費者は安い物へと走り、多忙さの中でしっかりと考える時間すら無くなっていく気がします。これからさらなる市場の自由化で日本の農業は大きな打撃を受けそうです。

組織が歩んできた在り方は、正に生産者の現場を消費者は知り、協力のもと大切な農業を守るという未来的な視野が組み入れられたものだったと、産地交流や見学会そして定例の会議などの役割を痛感しています。

私達は新しい展開の中にある時も継続する安定の中にある時も、常に選択しているのです。未来は遠くにっこりと私達を待っていてくれるものではなく、私達により作られていくものです。

新しい年に、これまでの農協の姿勢に心より感謝し、未来を生きる人達のためにも小さな選択を重ねていきたいと思っております。

私たちの生活基盤の元を守るため生産者と消費者が学びあい協力しあっているものでもあります。

私たちの会も会員の高齢のため退会される方がありますが、最近若手の方の入会が増えうれしく思っています。今年もよろしくお願ひします。



下郷農協まつりにカレーの出店で参加する会員さん

少量多品目の野菜生産者らと産地交流 グリーンコープ生協の運営委員が下郷訪問

このほど、グリーンコープ生協大分東センター運営委員会の皆さんが、下郷を訪れ生産者と産地交流会を行いました。当日は大人25名・子供14名と多くの方が参加していただき、下郷農協を知っていただく良い機会になりました。

最初に飲むヨーグルト施設の工場見学を行いました。秋季より商品取り扱いの企画をしていただいております。施設概要・商品のこだわり等の説明を受けながら見学をしていただきました。



野菜の収穫体験を楽しむ運営委員さん

その後、野菜農家の圃場見学に出発、見学は野菜組合長の鷹崎満行さんと役員の梅木敏子さんの圃場で行いました。鷹崎さんの圃場ではサニーレタスの収穫体験やナスを取らせていただき、お土産として提供していただきました。梅木さんの圃場では、山に囲まれた小さな畑での少量多品目栽培の野菜作りを見学していただきました。下郷の野菜作りが、どのように行われているかは見えていただくのが一番だと感じました。

昼食は、野菜組合役員の皆さんと冠地鶏生産者の金丸さんにも参加していただき、農協の食材を使ったバーベキューを行いました。地鶏・野菜・飲むヨーグルト・プリンなど、グリーンコープさんと取引のある食材を召し上がっていただき、美味しいと好評でした。最後に『ふれあいのお店』でお買い物をして帰路につかれました。良い交流が出来たと感じています。

(立花)

簡易施設や資材を有効活用 冬場の生産拡大へ野菜組合が圃場巡り

下郷有機農業生産出荷組合（鷹崎満行組合長）は組合員ら16名が参加し、簡易施設や農業資材の有効活用による冬場の生産拡大や、栽培環境（方法）の改善による新規就農者の確保を図ろうと、管内の圃場をめぐり研修を行いました。

今回の研修は、農協と生産者の協議の中から冬場の栽培強化と生産者の高齢化による出荷減少について、何らかの解決策を見出そうと企画されました。

生協向けの産直野菜セットは限定数を週ごとに決めて出荷しており、週600セットで設定した場合、1日約120セット程の出荷となりますが、冬場は野菜の生産・出荷量が減少するため、これまで限定数が週200セット程に止まり、流通経費を賄い難い状況もありました。

冬場の野菜生産を充実させるためには、10～11月の種まきを野菜組合員数十名が少し多くする事で収益に繋がるセット数が見込めますが、厳しい寒気に露地栽培で対応するには、無加温簡易ハウス・トンネル栽培などの施設や農業資材を有効活用す

る必要があります。

また、現在60名ほどの野菜組合員の平均年齢は70歳前後（最高齢90歳）で、高齢化に伴う新規就農者の確保対策も生産組織の存続に重要課題となります。簡単には新規就農者を確保できませんが、その要因の一つに「栽培環境（方法）」の難易度があります。有機無農薬栽培を行うには、慣行栽培に比べ様々なリスク（病害虫対策・肥料農薬の制限など）が生じるため、行政や農協のバックアップと連動した安定生産、特に冬場の生産拡大が可能となる簡易施設や農業資材の有効活用は欠かせないため、今回の圃場めぐり研修で共有した栽培技術をさらに高め、生産拡大と新しい仲間づくりに繋げていきたいと思えます。

(森山)



農業資材の有効活用法を探る生産者



風のひき始めにつぼ刺激

寒い季節は空気が乾燥して風邪をひきやすくなります。今回は、せきや喉の痛みなど呼吸器系の症状を和らげ、風邪に効果的といわれるつぼを使った体操をご紹介します。

腕の内側にある、孔最（こうさい）と呼ばれるつぼを、反対側の親指で強めに押しながら、手をグーパー繰り返し返しながら動かします。ちなみに、風邪のときに孔最を押すと痛みが感じられることもあります。

パーは指先まで伸ばします。秒針程度の速さで始め、慣れてきたら少しずつ速くしてみましよう。「イチ、ニ、イチ、ニ」と声を出しながらリズムカルに行うと良いでしょう。

応用として、グーのときの親指を、内側と外側の交互に出し入れしながら動かすと、より刺激が入ります。風のひき始めに、ぜひやってみましょう。

つぼを押しながらグーパーグーパー



(1)右腕は内側を向け、左の親指で孔最を押さえます。



(2)右手のこぶしを握りながら（グー）、右腕を軽く曲げます。



(3)右腕を伸ばしながら手を開きます（パー）。



孔最は肘の内側から5～6cm分下

(2)(3)の動きを20秒ほど繰り返します。左手も同様に行います。

理事会だより

11月28日、第8回定例理事会を開催しましたので、議案および協議内容の一部概要をお知らせします。
報告事項：①集落常会開催結果概要について

- ②監事監査実施結果概要について
- ③会計検査結果概要について
- ④第62回下郷農協まつり開催結果概要について
- ⑤内部監査実施報告について
- ⑥その他

- 第1号議案：10月決算承認の件について
- 第2号議案：異常例検査指摘事項に対する回答について
- 第3号議案：外部出資の減資申請について

- ・報告事項の集落常会開催結果概要については、10月29・30日一斉に開催された集落常会の出席者等の開催状況や、集落別に出された意見・要望の取りまとめ内容およびその回答が報告されました。監事監査実施結果概要については、10月31日～11月2日までの3日間行われた2018年度上期決算に係る監事監査で、生産・販売規模が減少傾向にある中で生産者育成・確保対策の確立や、農協事業運営等に関する指摘を受けた事が報告されました。
- 第62回下郷農協まつり開催結果概要については、11月11日開催の農協まつり収支等概要報告を行った後、各役員から意見・感想等を出し合い総括を行いました。その他事項では、農協所有のマイクロバスについて組合員活動の有効利用等の目的で制定した管理規程内容を報告しました。
- ・第一号議案の10月決算承認の件については、事業利益△6,163千円の計画に対し△21,687千円で15,524千円の未達成となりました。事業利益は計画対比で、収益部門のうち惣菜661千円・共済502千円が達成、診療所4,243千円・販売2,440千円・貸付2,373千円・農産2,026千円・販売商品1,421千円・食肉1,011千円等が未達成となりました。
- ・第二号議案の異常例検査指摘事項に対する回答については、8月6～9日に行われた本検査の指摘事項について回答（案）を付議・承認を受けました。
- ・第三号議案の外部出資の減資申請については、ヨーグルト事業に係る固定資産取得に伴う自己資金調達のため、昨年度減資申請し一旦保留扱いとしていましたが、再度固定資産取得および事業運転資金に充当するため、系統組織に出資している外部出資金の減資申請について付議・承認を受けました。

読者プレゼント

パズル?

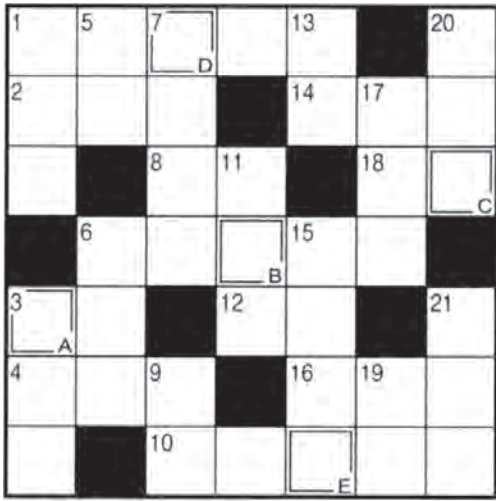
頭の体操



Q 二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

タテのカギ
ヨコのカギ

- 1 障子よりは破れにくそうな建具
 彼は——東西の文字に詳しい
 素振り中のバットが切るもの
 テンサイなどから作られる調味料
 漫談家が巧みな——で場を沸かせた
 カキやタイラギ、トコブシなど
 —— 考查。—— 手当
 寒い日には氷が張ることも
 平成31年の十二支は
 闘鶏に使われる鳥。漢字で書くと軍
 鶏
 農具や収穫物を入れておく建物
 壁の——から風が吹き込んだ
 旅客機に乗ってためる人もいます



先月号のこたえ



先月号のこたえ 「トシワスレ」
 当選者
 東京都品川区 長瀧 伸枝 様

ヨコのカギ

- 1 輪郭を描いた紙に目や鼻などのパーツを並べて遊びます
- 2 1、2、3や一、二、三など
- 3 『春の海』や『六段の調(しらべ)』を奏でる楽器
- 4 小銭入れに入れる物
- 6 鹿児島産焼酎の原料の多くはこれ
- 8 空からちらちらと降ってきます
- 10 山田太郎さんだったらT・Y
- 12 怒ると頭に生えるかも
- 14 車窓を流れていくもの
- 16 剣道で使う武具
- 18 ご来光を見るために登る人もいます

先月号のこたえ

6	9	5	8	2	4	3	7	1
8	2	7	3	5	1	9	6	4
1	3	4	7	6	9	5	8	2
3	6	9	4	8	2	1	5	7
4	1	8	9	7	5	6	2	3
7	5	2	1	3	6	8	4	9
5	7	6	2	9	3	4	1	8
9	8	1	5	4	7	2	3	6
2	4	3	6	1	8	7	9	5

先月号のこたえ ⑤+⑥=11
 当選者
 大分県竹田市 工藤 裕 様

解答は次号で

	3			1				
		9		2				1
		6	8			4		
	4		5					7
1				3			2	
		7		5	6			
2				1	5			
			4				3	

Q

数独 (すうどく)

二重枠に入った数字の合計はいくつ?

①《数独のルール》
 ①空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
 ②タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

応募方法

クイズの正解者の中から抽選でそれぞれ一名、下郷農協の商品をプレゼントいたします。ふるってご応募ください。

応募締切は二〇一九年一月二十日(必着)です。

- ① クイズのこたえ
- (パズル? 頭の体操の場合) クイズのこたえ 数字の合計 (数独の場合)

- ② 住所・氏名・電話番号
- ③ 下郷農協へのご意見ご要望など以上をご記入の上、ハガキの方は〒八七九-〇四三一

大分県中津市耶馬溪町 大字大島 二一五-四
 下郷農協 企画部 宛
 Faxの方は
 ○九七九-五六-二八八九

*個人情報他者への開示は一切致しません
 が当選者のみ紙面で公表させていただきます。

当選者には農協商品をお届けします。

一枚のハガキ・FAXで
 どちらにも応募できます!!

下郷のHPの
 応募フォーム
 から応募
 できます。

